

補修対象設備

発電機用高圧開閉装置(10.5kV)

Fig.5.1-23



状況

現在の高圧開閉装置は、OCB型であり、古い型式のため予備品の入手不能、遮断事故等の不具合が発生している。

対策

全ての高圧開閉装置をVCB型に新替する。

補修対象設備

発電機変圧器用高圧開閉装置(220kV/110kV)

Fig.5.1-24



状況

- (1) 現在の発電機変圧器用高圧配開装置は、3相分割OCB型であり、古い型式のため予備品の入手不能である。
- (2) 各相の油量は9トンであり、故障時に油を抜く作業が非常に難しい。
- (3) 碍子の絶縁不良等の不具合が数多く発生している。

対策

全ての発電機変圧器用高圧開閉装置をVCB or GCB型に新替する。

補修対象設備

各種モータ

Fig.5.1-25



状況

- (1) 大型補機モータの状況は、Fig.5.1-19に示した通り、老朽化が激しく、運転効率が悪い。

対策

- (1) ミル・PGF等の大型補機のモータは、Phase-Iで更新され、所内動力が大きく削減された。Phase-IIでも同様の効果が期待される。
- (2) 更にFDF, IDFモータの更新により、所内動力の削減が期待される。
- (3) 給水ポンプモータのインバータ化により、所内動力の削減を図る。

補修対象設備

モータ焼損原因究明と信頼性向上

Fig.5.1-26



状況

- (1) モータ焼損事故が頻繁に発生している。
- (2) 発電所工場にて、手作業でモータ修理作業を実施している。
- (3) 日本の第2次無償援助でモータ巻線装置を導入した。

対策

- (1) 2000年のモータ焼損原因とその対策をTable 5.1-2 (P5.1-25)に示す。
- (2) 対策について要約すると、修理の品質の向上とモータ設置箇所の周囲環境の改善が挙げられる。